

菊地木材株式会社 (大分県大分市)

伐倒、木寄せ、造材、運搬の各工程間の生産性の不均衡を是正したことによる生産性の向上

◆ポイント

ボトルネックとなっていた木寄せ工程と、運搬工程を2台体制で実施したことにより、大径材対応のハーベスタによる造材の稼働率を向上した。

また、本事業実施中に、2名の新規採用をし、林業の担い手を積極的に育成した。

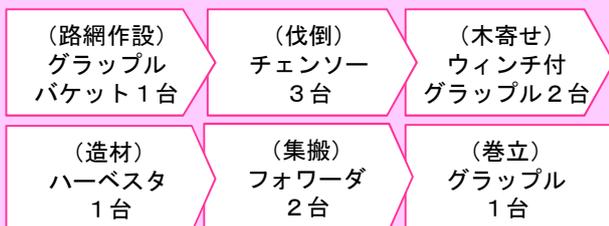
事業箇所

- 大分森林管理署
- 大原森林事務所管内(三本国有林)
- 樹種・林齢:スギ・ヒノキ48~49年生
- 面積:12.48ha
- 本数・材積:942本/ha
447m³/ha
- 林地傾斜:平均33度

間伐内容

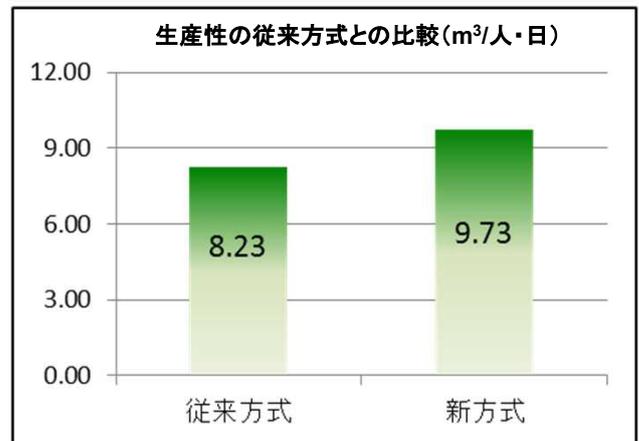
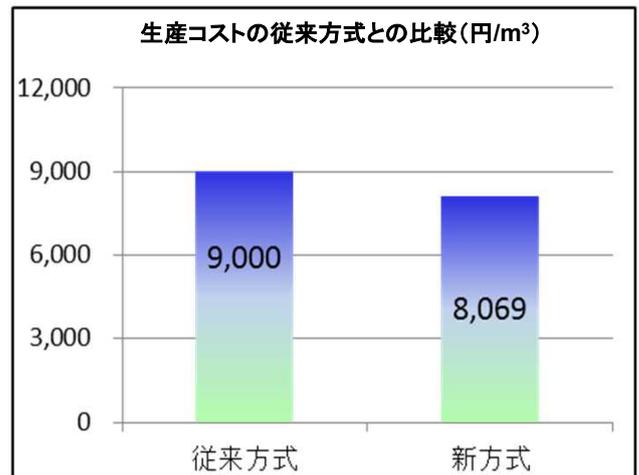
- 間伐方法:列状間伐
- 間伐率:本数比30% 材積比30%
- 間伐材積:2,850m³
- haあたり間伐材積:69m³
- 平均胸高直径・樹高:22cm・18m
- 1本あたり材積:0.38m³
- 路網密度:152m/ha

新方式の作業システム



【取組内容】

- ①各工程の生産性を分析し、保有機械の中で一番高価で、生産性の高いハーベスタの造材機能をフルに発揮する為、ボトルネックとなっていた木寄せと運搬の工程を2台体制で実施、工程間の生産性の不均衡を是正した。
- ②路網作設・修繕においては、グラップルバケットを導入し工期を向上した。
- ③本事業実施中に2名新規採用し、林業の担い手を積極的に育成した。



ハーベスタによる大径材の造材及びグラップルバケットによる路網作設